

観光圏整備と 観光地域づくりプラットフォームについて

平成22年5月31日
観光庁観光地域振興課

観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律(平成20年法律第39号)

国内外からの観光客が2泊3日以上滞る型観光をできるような観光エリアの整備を促進するための「観光圏整備法」を制定。
成立:平成20年5月16日(全会一致) 施行:同年7月23日

基本方針

(国が策定)

主務大臣は、観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本方針を策定。

- ・増加する訪日外国人観光旅客の受け皿たる観光地の整備と滞在型観光の振興を図るため、観光地が相互に戦略的に連携(観光圏を形成)。
- ・「観光地間の連携」、「地域の幅広い産業間の連携」、「国・地方公共団体と民間主体間の連携」の三つの連携を促進。

地方自治体

観光協会

旅館組合

協議会

農漁協

商工会

NPO

等

観光圏整備計画

(地方自治体が策定)

「観光圏整備事業」:地域の創意工夫による観光圏の魅力を高めるための事業を具体的に列挙

情報提供の充実

- ・圏域全体を紹介する地図・パンフレット作製やホームページ立ち上げ等

宿泊の魅力向上

- ・連泊・圏域内転泊プランの企画立案・広報等

体験交流メニューの充実

- ・滞在力を高める農業体験、アウトドア等の体験メニュー開発のための専門家招請等

観光案内の充実

- ・圏域全体の情報を多言語により案内するための研修の実施等

滞在を促進するイベントの実施

- ・滞在を促進する早朝・夜間の新たなイベントの企画・実施等

観光圏整備実施計画

(協議会が策定)

事業者が共同して観光圏整備事業を実施するための計画を作成し、国土交通大臣に共同で認定申請

大臣認定

国による総合的支援

- ・宿泊施設が実施する旅行業者代理業に係る旅行業法の特例

- ・運送事業関係の手續緩和の特例

- ・国による必要な助言、指導その他の援助

等

地域の活性化を通じた観光立国の実現

観光圏整備事業

広域的な連携・役割分担による観光地づくりの成功事例を早期に構築するため、国内外からの観光客の2泊3日以上滞在型観光が可能な「観光圏」の形成に向けた地域の関係者の連携による取組を支援。

観光圏整備のイメージ



観光圏整備に対する支援

○旅行業法の特例

ホテル・旅館による旅行者代理業の特例
⇒宿による宿泊客への着地型旅行商品の販売を可能とし、宿泊客の滞在を拡大

○農山漁村活性化法の特例

観光圏内の農山漁村における交流施設整備について、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の交付が可能
⇒農山漁村の体験・交流メニュー等楽しく過ごせる滞在メニューの充実

○社会資本整備についての配慮

社会資本整備における、景観整備、案内標識整備等の事業による観光圏整備事業との連携・配慮
⇒ハード面を含めた観光圏全体の総合的な魅力向上

○その他の支援

- ・宿泊施設の整備に係る貸付制度(財投)
- ・共通乗車船券
- ・認定観光圏案内所
- ・国際観光ホテル整備法等の特例

観光旅客のニーズをふまえた取組への支援

効果

国際競争力の高い魅力ある観光地の形成

↓
内外観光客による2泊3日以上より長期の滞在を拡大

↓
地域経済の活性化

観光圏整備実施計画認定地域(45地域)

- 22年度認定圏域名(15地域)
(対象市町村名)
- 21年度認定圏域名(14地域)
(対象市町村名)
- 20年度認定圏域名(16地域)
(対象市町村名)

雪国観光圏
(群馬県:みなかみ町、新潟県:十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町、長野県:栄村)

能登半島観光圏
(石川県:七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町)

越中・飛騨観光圏
(富山県:高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、岐阜県:高山市、飛騨市、白川村)

福井坂井広域観光圏 (福井県:福井市、あわら市、坂井市、永平寺町)

京都府丹後観光圏 (京都府:舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)

びわ湖・近江路観光圏
(滋賀県:彦根市、長浜市、近江八幡市(旧安土町)、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)

山陰文化観光圏
(鳥取県:米子市、倉吉市、境港市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、島根県:松江市、出雲市、大田市、安来市、雲南市、東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町)

淡路島観光圏 (兵庫県:洲本市、南あわじ市、淡路市)

広島・宮島・岩国地域観光圏
(広島県:広島市、呉市、大竹市、廿日市市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、山口県:岩国市、柳井市、周防大島町、和木町)

豊の国千年ロマン観光圏
(大分県:別府市、中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町)

玄界灘観光圏
(福岡県:福岡市、糸島市、佐賀県:唐津市、玄海町、長崎県:壱岐市)

平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏
(長崎県:佐世保市、平戸市、西海市)

雲仙・天草観光圏
(長崎県:島原市、雲仙市、南島原市、熊本県:上天草市、宇城市(旧三角町)、天草市、苓北町)

富良野・美瑛広域観光圏
(北海道:富良野市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村)

めでためでた♪花のやまがた観光圏
(山形県:山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石町)

日本海きらきら羽越観光圏
(秋田県:にかほ市、山形県:鶴岡市、酒田市、戸沢村、三川町、庄内町、遊佐町、新潟県:村上市、関川村、粟島浦村)

会津・米沢地域観光圏
(山形県:米沢市、福島県:会津若松市、喜多方市、下郷町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町)

トキめき佐渡・にいがた観光圏
(新潟県:新潟市、佐渡市)

立山黒部アルペンルート広域観光圏
(富山県:立山町、長野県:大町市)

富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏
(富山県:魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町)

にし阿波観光圏
(徳島県:美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)

瀬戸内しまなみ海道地域観光圏
(広島県:尾道市、愛媛県:今治市、上島町)

四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏
(高知県:宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町)

新東九州観光圏 (大分県:大分市、別府市、佐伯市、臼杵市、津久見市、由布市、宮崎県:延岡市)

阿蘇くじゅう観光圏 (熊本県:阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、山都町、大分県:竹田市)

知床観光圏
(北海道:斜里町、清里町、標津町、羅臼町)

釧路湿原・阿寒・摩周観光圏 (北海道:釧路市、弟子屈町)

さっぽろ広域観光圏
(北海道:札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村)

はこだて観光圏
(北海道:函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町)

新たな青森の旅・十和田湖広域観光圏
(青森県:青森市、八戸市、十和田市、三沢市、七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町)

伊達な広域観光圏
(岩手県:一関市、奥州市、平泉町、宮城県:仙台市、気仙沼市、登米市、大崎市、松島町、利府町、南三陸町)

やさしさと自然の温もり ふくしま観光圏
(福島県:福島市、相馬市、二本松市、伊達市)

日光観光圏 (栃木県:日光市)

あなたの空と大地 水戸ひたち観光圏
(茨城県:水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、大洗町、城里町、東海村、大子町)

ハケ岳観光圏 (山梨県:北杜市、長野県:富士見町、原村)

富士山・富士五湖観光圏
(山梨県:富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町)

南房総地域観光圏 (千葉県:館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町)

箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏
(神奈川県:小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、静岡県:熱海市)

伊豆観光圏 (静岡県:伊東市、下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町)

浜名湖観光圏 (静岡県:浜松市、湖西市)

知多半島観光圏
(愛知県:半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

伊勢志摩地域観光圏 (三重県:伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町)

東紀州地域観光圏 (三重県:尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町)

聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏 (奈良県:十津川村、和歌山県:田辺市)

香川せとうちアート観光圏
(香川県:高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町)

(参考)第2回観光圏連絡協議会の開催について(平成21年11月30日)

観光圏整備法に基づき、観光圏整備事業に取り組んでいる全国の観光圏協議会の相互における連携を密にし、横断的な意見交換・情報共有・成果発表・相互協力促進のため、第2回観光圏連絡協議会を開催。

第2回観光圏連絡協議会

○日時

平成21年11月30日(月) 13:00~18:00

○場所

国土交通省10階共用大会議室

○参加者(167名)

- ・観光圏協議会73名(全30地域の観光圏から出席)・観光圏整備事業検討会委員3名・旧国際観光テーマ地区等推進協議会会員6名
- ・農林水産省本省3名、地方農政局8名・地方整備局6名・地方運輸局9名・事業総括調整官室4名・観光庁20名
- ・旅行業界18名(14社)・プレス3名・傍聴者14名

○説明

- ①観光圏の整備について(観光庁 観光地域振興課)
- ②観光圏における旅行会社との連携
(TIJ国内観光旅行活性化部会)
- ③観光圏における社会資本整備等に関する
連絡会議の実施状況(総合政策局)
- ④観光関係者と農村地域の連携の推進
(農林水産省)



○事例発表

- ・観光圏における組織体制の整備
(富良野・美瑛広域観光圏)

○商品説明

- ①南房総観光圏
- ②平戸・佐世保・西海ロングステイ
観光圏



○意見交換

各観光圏の実施体制の整備や窓口の統一化を推進するため、班別に分かれ進んでいる観光圏の意見や旅行会社の意見を基に取り組みが遅れている観光圏の問題点等について議論し、今後の観光圏の実施体制の整備等についての方向性を確認した。

「観光圏の課題としての意見」

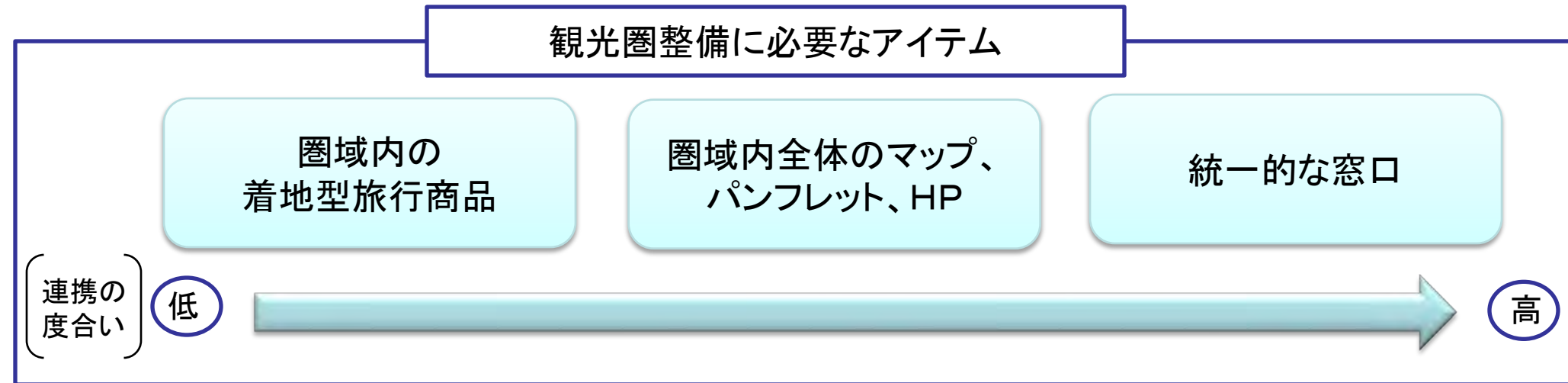
- ・窓口について、市町村ごとに分かれており一元化した窓口がない。(他市町村との情報の共有ができていない。)
- ・旅行商品の造成の上で圏域内の関係者間の意見調整に手間取り商品開発が進まない。

「進んでいる観光圏の意見及び旅行会社の意見」

- ・パンフレットについて利用者の視点に立ち、総花的なものではなく、体験的なものに絞って作成した。
- ・利用者の目線にたった利用しやすい旅行商品の造成が必要。ファムトリップも旅行会社が商品造成する前の10月に開催した。
- ・旅行会社からは、商品の造成上で観光圏の情報を得るため、宿泊施設及び交通機関を含めた窓口の一元化が必要。
- ・旅行商品については、季節が必要なので、スケジュール感とスピード感をもって造成してほしい。そうでないと取り上げるのは難しい。



観光圏における統一的な窓口の整備の必要性



特に、発地旅行会社からの要望の強い「統一的な窓口」の整備については、次のようなレベルで整備が進んでいるが、旅行会社との契約ができるレベルに達している地域はまだ少ない。

〔窓口のレベル〕

- i) 観光圏内の問い合わせに対して対応することが出来る。
- ii) 観光圏内の観光素材、着地型旅行商品の紹介が出来る。
- iii) **旅行業の登録を行う等により旅行会社と地域商品に関して企画開発、契約・販売が出来る。**

(ex.ふらの観光協会(富良野・美瑛広域観光圏)、(株)観光販売システムズ(伊勢志摩地域観光圏)、近江屋ツアーセンター(びわ湖・近江路観光圏))

観光圏で造成した着地型旅行商品を市場に流通させるためには、窓口のレベルの向上が必要

観光地域づくりプラットフォームの形成支援

現状 (課題)

○旅行者のスタイルは、従来の「団体旅行・物見遊山型」から「個人旅行・参加体験型」へシフトしている。
○しかしながら、従来同様に、集客は旅行会社が造成するツアーに委ね、受け身的に対応する地域が多く、地域資源を活用して「個人旅行・参加体験型」に対応し、自立した観光地域づくりに至っている地域は少ない。
○このため、地域資源を活用したニューツーリズム商品の市場流通が進んでいない。

解決策

○観光産業だけにとまらず、農林水産業、地場産業、流通加工業などの従事者や行政、NPOなど、地域に係る関係者が広く参加した中間支援組織もしくは事業主体(観光地域づくりプラットフォーム)を設け、地域全体が自立し、持続的に成長発展していけるよう、地域資源を活用したサービスや商品を新たに生み出し、地域の外に向かってそれらを販売していくことが重要。

○また、この場を有効に機能させるためには、計画作りや総合調整を担う中核人材の育成が極めて重要。

<具体的な支援方法>

①成功事例の収集・公表

速やかに、観光地域づくりプラットフォームに関する全国各地の成功事例等を収集・公表する。

②先進的な取組の支援・検証

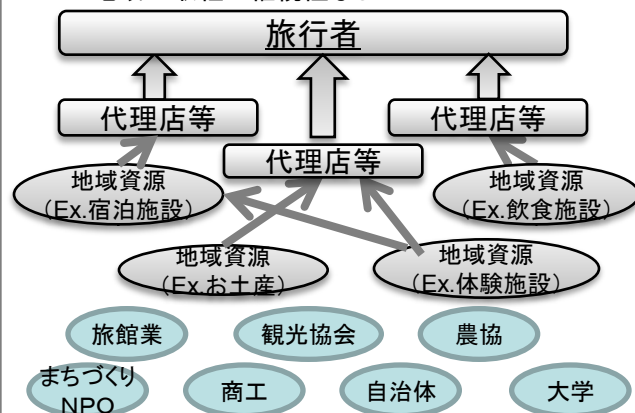
地域特性に応じたプラットフォームの形成促進を図るため、意欲ある地域の協力を得ながら、組織化や中核人材育成等に対する先進的な取組を支援し、改善効果等を検証する。

③全国への展開

プラットフォームの形成促進を全国各地に展開していくための方策を検討していく。

(従来)

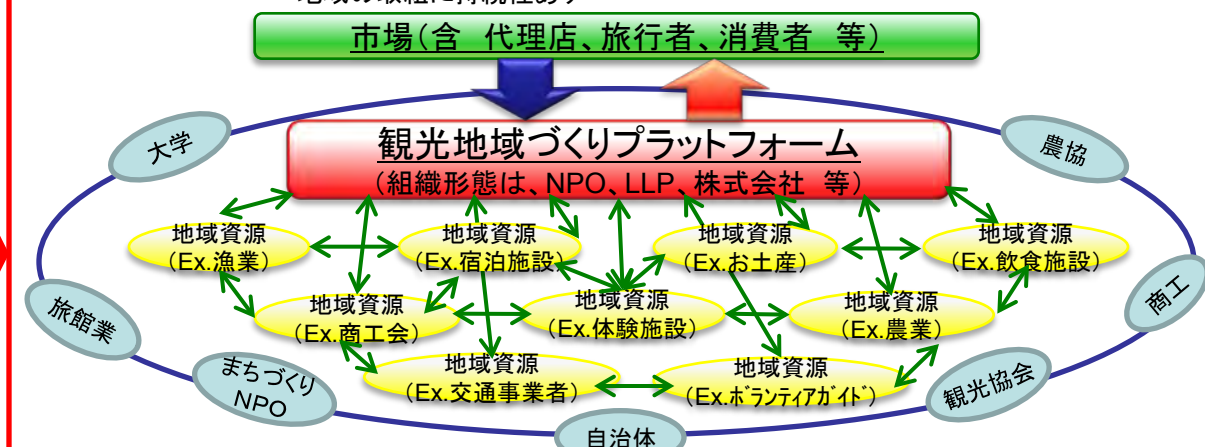
- ・代理店等と地域の施設等が直接契約
- ・自治体・地元の産業界のネットワークが希薄
- ・地域の取組に継続性なし



「団体旅行・物見遊山型」に対応
(個々の地域資源の販売ロットが大きい)

(観光地域づくりプラットフォーム)

- ・市場(代理店、旅行者等)と地域をつなぐ窓口組織として一体化
- ・地域の取組に持続性あり



「個人旅行・参加体験型」に対応
(個々の地域資源の販売ロットが小さく、数が多い)

観光地域づくりプラットフォームの形成によるニューツーリズム商品の市場流通の推進

観光地域づくりプラットフォームのイメージ

観光地域づくりプラットフォーム
(形態は、NPO、LLP、株式会社 等)

- ・旅館業
- ・観光協会
- ・農業協同組合
- ・まちづくりNPO
- ・商工会
- ・自治体
- ・大学

観光施設の委託事業

- ・観光案内所の運営
- ・公共観光施設の運営

魅力的な物産・土産品の開発・販売

- ・地域ブランド製品の販路開拓
- ・地産地消レストランの運営

地域の観光魅力の情報発信

- ・観光パンフレットの作成
- ・インターネットによる情報発信

地域観光動向調査の実施

- ・入込客、満足度調査
- ・地域ブランド製品の市場調査

観光振興を担う人材の育成

- ・ホスピタリティ向上研修
- ・観光関連学科との連携

**第3種旅行業の規制緩和を
生かした着地型旅行商品の
開発・企画・販売**

- ・魅力的な体験プログラムの開発・企画
- ・予約・受付・手配の一元的管理
- ・在庫管理・品質管理・クレーム処理

**プラットフォームの
持続性を確保**